

令和4年度 せつこっこクラブ4月
「イロイロねんどで絵をつくろう！」
開催結果報告

日 時：令和4年4月29日(金祝) 午後2時～4時

参加人数：年少～小学生 10名

参加費：300円（材料費）

職 員：丹野、長岡、野田、名和

「せつこっこクラブ」は、子どもたちに三岸節子作品や芸術に親しんでもらうため、毎月1回を目安に開催しているワークショップです。

今回は、現在開催中のコレクション展「カラリストの世界」にて、三岸節子が描いた色彩豊かな作品の数々を展示していることにちなみ、“色”に注目したワークショップを開催しました。色つきの粘土を混ぜていろんな色を作り、パネルに張り付けてちょっと立体的な絵画作品づくりに挑戦しました。

作品制作に入る前に、まずコレクション展「カラリストの世界」を鑑賞しました。“私は色彩画家(カラリスト)である”とエッセイにたびたび残し、色彩に強いこだわりをもっていた節子。参加者のみなさんには、埴輪をモチーフとした作品や、さわやかな水色が印象的な早晨のヴェネチア、素焼きの赤い屋根と白い壁が特徴的なアンダルシアの街並みなど、色とりどりの節子作品をじっくり鑑賞して、気づいたことや思ったことをメモしてもらいました。



コレクション展「カラリストの世界」を鑑賞する参加者のみなさん

作品鑑賞のあとは、いよいよ粘土を使った作品づくりです。

はじめに、絵にしたいもの(モチーフ)を決めます。自分の好きな食べ物や、一緒に暮らすペットを作品のモチーフにする子もいました。

モチーフが決まつたら、粘土を混ぜて形を作つて、どんどんパネルに張り付けていきます。今回はいろんな色が作れるよう、赤・青・黄・緑・黒・白の軽量粘土を用意しました。混色のヒントシートを見ながら、自分の好きな色を作つていきます。軽くてよく伸びる粘土は、接着剤が無くともパネルに張り付けることができます。指や粘土べらを使って粘土を伸ばしたり、模様をつけたり、丸めて輪っかを作つたりして、絵を描くようにパネルに盛り付けていきます。ちなみに、今回使用したパネルは、過去の展覧会で解説パネルとして作成したものを利用したものです。

粘土を張り付け終えたら、額縁に見立てたカラ一段ボールを四角く切り抜き、パネルと張り合わせて完成です！



はじめに作り方の説明をします



「どんな色を作ろうかな～？」



せつこっこフラッグ前で記念撮影！



完成作品。どれも力作です！

今回の「イロイロねんどで絵をつくろう！」では、カラフルな粘土を使い、ちょっと立体的な作品を作つてもらいました。参加したお子さんはもちろん、保護者の皆さんも一緒になって粘土をコネコネしていたのが印象的でした。粘土の感触を楽しみながら、色の面白さを感じてもらえたのではないかでしょうか。今後も、多くの子どもたちに気軽に参加して楽しんでもらえるような企画を開催していきたいと思います。



(学芸員 丹野汀)